

プロジェクトアドベンチャー(PA)

プログラムの概要・ねらい

1970年頃にボストン郊外の高等学校教師が中心となり、学校教育の中から生まれたプログラムである。子どもたちを信頼し、学級の規範作りを子どもたちに委ね、居心地のよいクラスを目指すために開発された体験学習の手法の一つ。

場所	PA南ゾーン・PA北ゾーン 学習室 AB・レクルーム・集いのホールなど		4 異の異い性質をみんなに	5 ジェンダー平等を实践しよう
	時間	活動内容により異なる		10 人や国の不平等をなくそう
値段	無料		16 平和と公正をすべての人に	
季節	年間	人数		
準備物				
【利用者】PA用品、季節に合わせた服装、水筒、帽子、虫除け、救急用品など				
【自然の家】PA用品				

①準備

※実施については事前に問い合わせが必要。

※実施する場合は以下の条件を満たすことを必須とする。

- ・PAの指導ができる指導者がいること
- ・PAゾーンを利用する場合は、ロープコースのSOP（標準的な手順・方法、Standard Operating Procedure）を理解している指導者がいること。
- ・使用するエレメントごとにSOPを理解している指導者を1名以上配置すること。

サービスセンター受付で、実施場所の鍵を借りる。

プレイホール倉庫から使用するエレメントの道具を当所スタッフ立会いのもと準備する。

準備の段階で、実施場所、道具の安全を十分に確認する。

②実施の流れ

指導にあたっての留意点

- ・対象、当日の環境に合わせ、安全に配慮し実施内容を十分に検討すること。
※屋外施設であるエレメントは、季節、気象条件等により利用できない場合もある。
- ・エレメントごとのSOPに留意し指導する。子どもだけでエレメントを使用しない。
- ・注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビ等に遭遇した場合の注意を徹底すること。（別紙 注意が必要な動植物参照）



③後片付け

使用した用具などをプレイホール倉庫へ片付ける。

鍵をサービスセンター受付に戻す。

用具やエレメントの破損等があった場合にはサービスセンター受付へ連絡する。